

あなたの骨は大丈夫ですか？

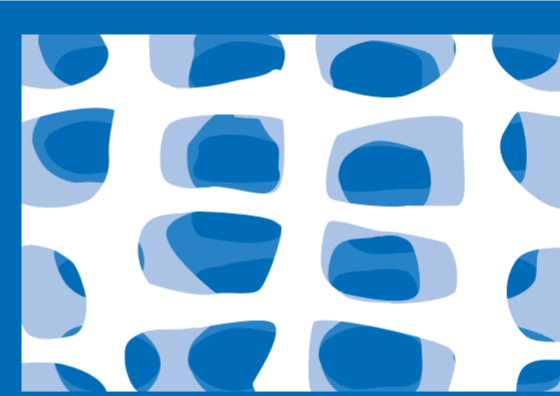
骨密度測定 のすすめ



骨粗しょう症って？

骨粗しょう症というのは、骨が弱くなり、骨折の危険が高まる骨格の病気です。また、骨密度が減っていても、ほとんど自覚症状はありません。ただ骨粗しょう症がもとで骨折して初めて、痛みを感じたり、背中が曲がったり、寝たきりになったり、日常生活に支障を来し易くなります。早めの確認が必要です。

※こちらのイラストはイメージです。実物とは異なります。



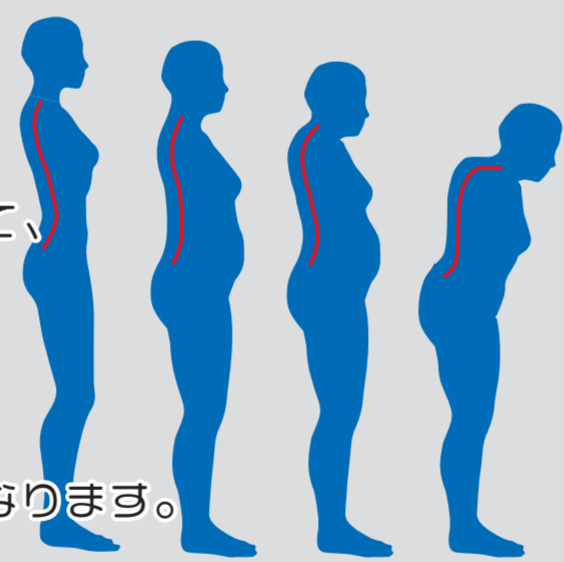
正常な骨の状態



骨粗しょう症で
もろくなった骨の状態

高齢と 骨粗しょう症

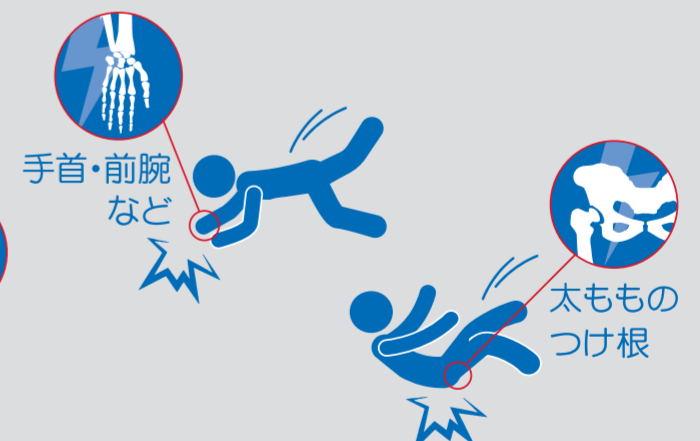
骨粗しょう症がもとで骨折して、初めて痛みを感じたり、背中が曲がったり、更に寝たきりになったりして日常生活に支障を来し易くなります。



骨折に 気を付けましょう



このような骨折は骨粗しょう症が原因かもしれません。



予防・治療できるの？

- 現在、予防・診断や治療のための技術や治療薬が進歩しています。
- 早い段階で骨密度の状態を把握することで、良い効果が上げられてきた実績があります。

どうすればいいの？

- まず、問診や骨密度測定を行い、骨密度を把握しましょう。
- 骨折すると日常生活に影響を与える腰椎や大腿骨の骨密度を測定します。
- 骨密度測定には微量のX線を用います。X線検査に準じて、ベッド上に仰向けで寝るだけです。骨密度検査で受ける被ばくは胸部エックス線検査より少ない量です。
- 測定は、約10分間で、痛みはありません。